

2022

令和4年度

# 施政方針

与那国町長 糸数健一



# 目次

1.はじめに	1
2. 主要事業の概要	
1. 産業の振興	
①農業の振興	6
②漁業の振興	7
③畜産の振興	8
④商工業の振興	8
⑤観光産業の振興	10
⑥交通の確保	11
2. 教育文化の振興	
①学校教育の充実	12
②教育施設の充実	14
③文化の振興	15
④西自治公民館活動拠点施設の建設	16
3. 医療・福祉の充実	
①医療の充実	16
②福祉の充実	17
③母子保健・子ども子育て	19
④健康づくり	20
⑤食育推進	21

⑥高齢者福祉・介護予防	21
4. ゴミ対策	22
5. 生活基盤の整備	
①県道・町道の整備	23
②農業基盤整備	24
③港湾整備	24
④水道整備	24
⑤定住促進	25
⑥空港の整備	25
6. ICT利活用の促進	26
7. 消防・防災	
①防災・災害対策	27
②国民保護	28
8. 行財政改革推進	
①政策参与の設置	28
②人材確保	28
③税収の確保	29
9. 新庁舎建設	29
3. むすび	30
4. 令和4年度の予算	31

## 令和4年度施政方針

---

令和4年第1回与那国町議会（定例会）の開会にあたり、令和4年度一般会計予算案をはじめ、各特別会計予算案並びに諸案件を提案し、ご審議をお願いするとともに、町政運営に取り組む施政方針と、政策の概要を申し上げ、町民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

### はじめに

私は昨年8月の与那国町長選挙におきまして、町民の皆様からの多数のご支持と厳粛な信託を賜り、第21代与那国町長に就任させていただきました。大変光栄であるとともに、町長としての職責の重さに身の引き締まる思いをいたしております。

本町発展に向けてはこれまで、尾辻吉兼元町長が礎を築かれ、外間守吉前町長が強固な屋台骨を築いてこられました。

お二人の残されたご功績をしっかりと受け継ぎ、また、これまで培ってきた行政の力を継続しながら、私自身「町民の皆様の思いに寄り添い、町民の皆様と対話し、町民の皆様とともに汗をかく」姿勢を貫き、町の持続可能な発展と住民福祉のさらなる向上に、全身全霊を尽くしてまいり所存でございます。

昨年は、皆様もご承知のとおり新型コロナウイルス感染症への対応・対策に奔走する1年となりました。新型コロナウイルスによりお亡くなりにな

られた方々、ご家族の皆様にご挨拶申し上げます。また、感染リスクと闘いながらも現場を支えてくださっている医療・福祉従事者の皆様、長期にわたり我慢を強いられている事業者の皆様、そして、感染症を共に乗り越えようと頑張っている全ての皆様のご尽力に対し、深く感謝を申し上げます。

現在、沖縄県下全域が「まん延防止等重点措置」の対象地域から解除となりましたが、なかなか収束の兆しも見えておりません。町民の皆様並びに事業所の皆様にご協力いただき、関係機関との連携を密にしながら、引き続き感染拡大の防止に努めております。

新型コロナワクチンの接種については、全人口に対する12才以上の2回目の接種率が73.5%を超え、その内65才以上の2回目の接種率は96.2%を超えており、皆様のご協力も相まって感染リスクの軽減及び重症者数の抑制等に一定の効果があったと認識しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は、本年に入り、新たな変異株（オミクロン株）の感染がかつてないスピードで全国に急拡大するなど、予断を許さない状況が続いております。町ではこれまで、感染対策や経済対策に取り組んでまいりましたが、令和4年度においても、町民の皆様が安心して健やかな生活を送ることができるよう、その時々状況を見極めながら「感染防止」「生活支援」「経営支援」により、新型コロナウイルス感染症への対策を講じてまいります。

また、感染拡大防止及び重症化予防の観点につきましては、新年度におきましても、町民の皆様の命と暮らしを守り抜くため、引き続き1回目・2回目の接種を促すととともに、3回目の接種を推し進め、接種率の向上を目指します。また、5歳から11歳までの小児接種に際しては、より丁寧で安心・安全な接種体制の構築に努めてまいります。

その上で、町内経済の回復のための取組を進め、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図ってまいりたいと考えております。人口減少対策、社会経済活動の活発化に向けた各種施策を展開し、3回目のワクチンの接種によるブースター効果が期待される6月以降の期間は、各地域の行事・イベントなど、島の賑わいを取り戻してまいりたいと考えております。

また、入域観光客の落ち込みは一昨年から更に悪化し、住民の足となる航空便の減便が続くなど地域経済、生活に大きな影響を及ぼしているなか、住民の生活と経済を守るため、町独自の施策として全ての町民への給付金の支給、そして、どなんクーポン券の配布、その他事業者への感染対策のための抗原検査キットや消毒液の配布など、島内の消費喚起や需要拡大を図り、町民の命と暮らしを守るための様々な施策に取り組んでまいりました。今後とも適時に感染防止、拡大防止への対応に注力を注いでまいります。

また、生活基盤の整備につきましては、焼却施設が新型コロナウイルス感染拡大防止対策により工事の一時中止等による遅れもありましたが、令和3年8月に供用開始されました。今後、最終処分場の延命化に取り組んで参ります。水道の硬度処理化施設も本稼働し各家庭の水道を利用する機器の延命化、

トラブル解消が期待されています。さらに、永年の課題であった製糖工場の  
宿舎施設も本年度中に完成する予定となっており製糖期の人材確保と製糖  
期外の宿泊施設としての利用に一役買うものと期待しております。

私たちが直面しているこの新しい危機は、日常生活や企業の経済活動な  
どへ多大な影響を及ぼすとともに、人々の価値観や生活様式に大きな変化  
をもたらしております。

しかしながら、これらの取組を着実に前進させている一方で、新型コロナ  
ウイルスの感染拡大の影響により、一旦歩みを止めざるを得なかった取り  
組みもあり、コロナ収束後にはその歩みを取り戻し、新しい時代に向け、大  
きな希望を持てるよう前進させていく必要があります。

新型コロナウイルスの感染拡大が引き起こしている多くの困難に対して、  
本町が一丸となって立ち向かい、必ず打ち克つという強い決意を胸に、町政  
運営に望んでまいります。

今般、与那国町において平成 23 年に策定しました「第 4 次与那国町総合  
計画」の改定作業に取り組んでいる途中ではありますが、これまで、「いきい  
きと働けるまち」「癒しと安心のまち」「人材を育て・つなぐ交流のまち」「循  
環と共生のまち」「海を守り、支えるまち」「伝統文化に支えられた自治と自  
律のまち」の 6 つの視点を柱に、重点実施施策の取組を進めてまいりまし  
た。

令和 3 年度は、これまで取り組んできた成果、課題をしっかりと検証して  
きました。令和 4 年度でこれから推し進めるべき将来目標を私の政策も取



り入れつつ、エビデンスに基づく政策立案に努め、次の10年間に何をなすべきか、時流を捉え、近年、全世界的な指標となっております国連の提唱した“SDGs”（持続可能な開発(成長)目標）の考え方を視野に入れながら多くの町民の皆様のお力添えも賜りながら、「次期与那国町総合計画」の新たなステージとなる基本計画を策定してまいります。

政策実現のためには、財政基盤の確立をはじめとした、限られた資源である「ヒト・モノ・カネ」を今後どのように配分するかが重要であります。難航しております新庁舎建設については幾多の課題がありますが、山積した課題を解決し着工に向けて取り組みの強化や、その他の公共施設の長寿命化の推進におきましても同様に強化してまいります。また、離島振興への国・県の取り組みに対して積極的な関与は重要事項と考えます。

町民の暮らしをしっかりと支える中心的な役割を担うのは、行政であり、日頃から町民生活に密接した行政サービスの提供や、産業振興、地域活性化に取り組むべき政策の実行を常に心がけ、町民から付託された重責を厳粛に受け止め、町政運営について、次の9つの施策を着実に実行し、町民の福祉の向上と与那国町の持続的発展のため、全力をあげて行財政運営の舵取り役を全うしてまいる覚悟であります。

令和4年第1回与那国町議会定例会の開会にあたり、私の町政運営に対する所信の一端を申し上げ、町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下、各分野にわたり、順次わたくしの所信を申し上げます。

## 1 産業の振興

### ① 農業の振興

第一次産業である本町のさとうきび振興については、「さとうきび優良種苗安定確保事業」及び「さとうきび採苗圃設置事業」により、優良種苗の確保及び普及を図り農家への肥培管理の徹底、指導、支援により増産に向け引き続き取り組んでまいります。

製糖工場の操業については、昨年引き続き、年内操業ができるよう働きかけ取り組んでまいります。

危機的な状況にある水稻の振興については、後継者の育成及び安心安全な米作りの支援を図るとともに、J A・水稻生産部会・八重山農林水産振興センター農業改良普及課等の関係機関と連携し、抜本的な対策について協議のうえ、水田農業の復興を図ってまいります。

干ばつ対策については、「与那国町干ばつ対策協議会」を適時に開催し、早期に干ばつ対策の諸事業に取り組めます。

今年度も農業生産法人、その他団体が出荷する野菜、果樹、薬用作物の沖縄県内への空路輸送費に対し「農林水産物輸送コスト負担軽減事業」により支援を行います。

さらに営農基盤の整備が遅れている状況下、本町の自然環境に適した新たな農作物として、野菜やクシティ（コリアンダー）等の栽培を推進し、与那国島独自の野菜として加工品開発を推進する体制を整える様努めてまいります。

令和 3 年度から見直しを進めている農業振興地域の区域見直し及び営農計画については、令和 4 年度の策定完了を進めてまいります。

新規就農者を手厚く支援するため、年 150 万円を給付する「農業次世代人材投資事業」を継続して取り組みます。

## ② 漁業の振興

小規模離島である与那国町では漁業は重要な産業の一つであります。しかし、近年漁業従事者を取り巻く状況は、高齢化が進むとともに過疎化も進んでいることから、島内外から次世代の担い手を積極的に育成することが極めて重要であります。引き続き「与那国町漁業担い手育成プラン事業」にて漁業従事者団体に支援を行います。

本町は、遠隔地単独離島であるゆえに水産物の消費・流通に大きなハンデがあることから、漁業従事者団体が出荷する生鮮鮮魚の沖縄県内への空路輸送費に対し引き続き「農林水産物輸送コスト負担軽減事業」により支援を行います。

そのほか、高付加価値化や流通体制の改善、販路拡大、イベントの開催及び商品開発などの漁業従事者主体的な取り組みを「沖縄県離島漁業再生支援事業」により支援を行います。

与那国島周辺海域は、我が国で最初のシラスウナギの来遊海域であると推定されていますが未確認であり、近年、日本近海での捕獲に難があるシラスウナギ不漁が大きな問題となっております。

うなぎの高騰が叫ばれている中、地の利を活かし、与那国島周辺海域におけるシラスウナギ来遊の確認及びシラスウナギ養殖の可能性等について調査し、成果が得られれば、与那国町における一大 主要産業として位置づけ、漁業経営の向上・安定化と地域振興が 図られるよう努めてまいります。

### ③ 畜産の振興

与那国町の和牛生産を推進すると共に、繁殖雌牛の生産基盤の 拡充・強化を促進し、肉用牛の資質向上を図るため「優良繁殖雌牛導入事業」にて畜産農家に優良繁殖雌牛及び優良繁殖妊娠牛購入費用の 1/2 以内、1 頭当たり 60 万円を上限とし支援いたします。

また、東地区畜産用水の緊急措置として、「与那国町畜産用水緊急措置支援事業」にて各牛舎にタンクを設置し、畜産用水の確保を図り畜産農家の過重労働の削減を支援してまいります。

近年畜産業を取り巻く状況は、高齢化及び畜産農家の減少が進んでいることから、島内外から新規就農者の確保及び担い手の育成・支援を図ってまいります。

### ④ 商工業の振興

日頃より触れる機会の少ない与那国町の特産品の良さを知ってもらう為、県内はもとより県外の物産展などの集客力を利用した出展に支援を行います。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で思うような事業展開ができませんでした。今年度は事業展開が可能な環境が整いし感染対策を施し、特産品のPRを行い県内及び県外への販路開拓を図ります。

「与那国島特産品アピール強化事業」の成果も着実に現れており、毎年開催されている離島フェアや県内外でのその他の物産展は毎回好評を得ておりますが、前述したように昨年度の事業展開が出来ない状況でした。今年度は、事業を再開し県内外での物産展開催を予定しております。更に、ふるさと納税の返礼品を通して特産品の認知度向上に努めてまいります。

ふるさと納税につきましては、「様々な寄附の受け皿づくりに取り組むとともに、新たに民間視点を導入し、返礼品のさらなる充実・強化に努めてまいります。

ふるさと納税の財源により設置された、「ばんたドゥナン島基金」を活用し、与那国島の地域振興、環境の保全・改善を目的に実施する、「どうなんちまづくり活動」や、与那国町の新たな雇用創出に向けて実施する、「どうなん活性化事業」を企画する個人や団体、また、地域伝統芸能・文化継承活動に助成を行ってまいります。

本町を代表する伝統工芸品の「花織り」は、約500年の歴史があります。その知名度は、県外はもとより県内においても十分とはいえないのが現状であります。伝統織物協同組合を中心として、後継者育成やPR事業、情報発信及び織物体験など様々な取組みを展開しているところであります。今後は、気軽に機織り体験や与那国花織りの魅力を発信できる観光と結びつ

いた施設の整備を行います。

伝統工芸館は、平成 29、30 年度において策定した基本計画及び運営計画を基に、令和元年度及び 2 年度は実施設計を行いました。令和 4 年度で施設建設に着手できるよう財源の確保に取り組んでまいります。

#### ⑤ 観光産業の振興

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「与那国島一周マラソン大会」が中止や延期となりました。これまで継続して実施されてきたイベントが開催されなかったことは大変残念でありませんが、今年度は感染症対策を施し、コロナの時代に即した開催へ向けた工夫をし、イベントを再開するとともに、情報発信をしっかり行うことで、観光客等の誘客と滞在時間長期化の促進に努めてまいります。

島に数多く存在する魅力的な地域資源を活用した新たな観光メニュー開発に取り組み、与那国島の観光価値の向上を図ります。更に、観光地の公衆トイレ改築整備を計画しており令和 2 年度において西崎及び東崎観光地の公衆トイレ改築の実実施設計をもとに西崎は 3 年度で建設、引く続き 4 年度に東崎に取り組むとともに、併設する駐車場の拡幅や歩道への手すりの設置等の整備に努めてまいります。

近年の自然災害の多発や航空機等の事故、感染症発生に際し観光客や観光産業に甚大な被害をもたらす観光危機に対応するための観光危機対応計

画を令和2年度で策定しました。また、与那国町内において最大の客室数を有するホテルが休業状態にあります。4月から別な形での施設利用の話もあり、依然として団体客等の大人数の客室確保が困難な状態にあります。このことは与那国町の観光に大きな影響をもたらすことは明白であり、関係機関等と連携、協議しながら事態の解決、收拾を図ってまいります。

#### ⑥ 交通の確保

島を結ぶ航路・航空路は、住民の生活や地域経済にとって重要な交通手段であり、また都市圏との交流、物流、観光、産業活動に欠くことのできない重要な役割を果たしております。沖縄県が行う離島住民等交通コスト負担軽減事業の継続実施と拡充に努めてまいります。

現在、与那国空港に就航している琉球エアークommューターの航空機が昨年度新型コロナウイルス感染症の影響で減便を強いられるなど、住民の暮らしや観光に大きな打撃、影響を受けました。今年度は減便の早期の解消を目指して関係機関へ働きかけてまいります。

日本最西端の島として、観光産業の活性化を担うためには、チャーター便の積極的な誘致を図る必要があります。地上支援機材の整備を進め就航率の向上と航空会社の負担軽減に努め、誘客活動を積極的に展開してまいります。

また、町民の生活を支える路線バスを町民の皆様のニーズにお応えし、夜間11時まで運行をしております。昨年度予備車両として導入した2台目のバスと合わせて生活路線運行には万全を期し、今後ともバス運賃の無料化

を引き続き実施し、運行時間・停留所の変更等に関しましては、航空機の発着時間等も考慮し暮らしの利便性に添った改定を心掛けてまいります。

## 2 教育文化の振興

### ① 学校教育の充実

昨年度、コロナ禍により学校教育も大きく変化しました。従来から言われていた以上に、予測が困難な時代となっています。このような中で、子供たちが変化の激しい社会をよりよく生きていくためには、学校教育をはじめとして、地域・社会・家庭それぞれの対応が求められています。

こうした課題に対し、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を身につけさせるため、また、知・徳・体にわたる「生きる力」を子供たちに育むため、学校教育の充実は欠かせません。本町においては、「郷土どうなんを拓き、創造的な知性を備えた人間性豊かな人材」の育成が最重要課題となっています。

そのため本町においては、「中学生のジュニア海外語学研修（アメリカ）」や「小学生の台湾花蓮縣小学校へのホームステイ事業」を実施し、子どもたちの夢や将来への希望を培う機会としています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、現地派遣が厳しい状況ではありますが、事業実施の実現に向け取り組んでまいります。

また、今年度も外国語指導助手（ALT）を小中学校に配置し、英語や外国



の文化に親しむ環境を充実させ、英語力やコミュニケーション能力の向上はもとより、郷土や異文化の理解と尊重を図ってまいります。

教育の情報化に関しては、昨年度は1人1台端末、Chromebookの本格運用が始まり、2学期から週に1回以上の持ち帰りを継続しています。今年度は授業をより充実するために、教育の情報化を推進する体制を構築し、ICT機器を活用した授業の充実、校務の改善について横断的に取り組んでいきます。また、学びの保障と教育の機会均等の観点から、インターネット通信環境を整えられない家庭においても平時及び緊急時にICTを活用した家庭学習が可能となるように引き続きモバイル通信回線を整備します。子供たちが安心・安全にICTを活用していくことができるように取り組んでいきます。

さらに、共生社会の実現に向け、個別の教育的ニーズのある幼児児童生徒へ多様で柔軟に対応するため、「特別支援教育支援員」の配置によるインクルーシブ教育システムの構築、また、「スクールカウンセラー派遣」による教師・保護者・幼児児童生徒への支援及び教育相談体制の充実など、一人一人を大切にした教育活動を推進してまいります。

学校以外の教育の場としては、学習環境、教育内容の島嶼のハンディを補うため、すべての子どもに学びを保障する「無料町営学習塾」を開講しています。単に知識のみでなく、勉強の方法や学び方を身につけさせ、主体的に目標に向かって挑戦する力の育成に努めています。

一方、教育環境の整備については、学校給食の完全無償化を実施している他、

教育諸活動に係る児童生徒派遣事業で文化面やスポーツ面における島外派遣の助成を行います。昨年度はコロナ禍で島外における諸行事が中止となりましたが、今年度は従来通り、児童生徒の資質能力向上と保護者の負担軽減を図ってまいります。

検定受検料補助事業では、生徒のべ175名に対し、英語・数学算数・漢字の3つの検定受検料の助成を行いました。今年度も引き続き助成事業による受検機会の拡充を行い、児童生徒の学習意欲と学力の向上を目指してまいります。

また、「離島高校生修学支援事業」を今年度も継続し、保護者の負担軽減に努めてまいります。

## ② 教育施設の充実

学校施設の整備については、全施設の約5割の建物が築30年以上経過しており老朽化が顕著にあらわれております。特に、ひがわ幼稚園園舎は、建て替えを余儀なくされており、他の2園も含めた新たな幼稚園運営方針を定めるとともに整備計画に取り組を進めてまいります。

昨年度は、久部良小学校のブロック塀安全対策に取り組み工事を実施しております。引き続き児童生徒の安全対策に取り組み、すべての学校の安全な教育環境の整備に努めてまいります。

老朽化が著しい学校給食共同調理場の移転・建替えについて、昨年度に実施設計を行いました。今年度は、総合食育センター建設に向け工事本体に着

手し令和 5 年度の事業完了を目指して事業を推進し安全でおいしい学校給食の継続実施に取り組んでまいります。

今後も、幅広い視点で教育委員会との連携を深め、方向性を共有し、総合的な推進に努めてまいります。

### ③ 文化の振興

与那国島の自然や文化に誇りを持ち、その保存、継承を図るため、文化財の保存と活用に努めてまいります。

「与那国島の断層帯天然記念物緊急調査」によって、サンニヌ台の断層露頭は、地殻変動の激しさを知る地質学的資料として、日本を代表する適地であることが明らかになりました。国の天然記念物指定を受けて、適切に保存・活用を図ることが望ましく、令和 3 年度には指定範囲を決定するための測量を実施いたしました。引き続き関連情報の整理に努め、令和 4 年度での国の天然記念物指定を目指します。

国の重要無形民俗文化財「与那国島の祭事の芸能」は、コロナ禍による祭事の縮小によって発表の機会が失われ、いっそう保存継承が危ぶまれる状況にあります。保持団体が抱える課題や要望を積極的に聞き取り、有効な支援策を講じてまいります。また、令和 3 年度には、与那国島を代表する民謡「すんかに節」「猫小節」「でいらぶでい節」について、それぞれの発祥の地に解説板を設置しました。伝統文化を学ぶための材料として活用するとともに、あらたな解説板の設置を検討してまいります。

町民一人一人の生涯学習を支援し、平等に図書に触れる機会を創出するため、与那国町活性化施設に町立図書室を整備します。沖縄県立図書館、町内読書活動団体、学校図書室など関係機関と連携・協力しながら、町民個々のニーズに応じた読書機会の提供に努めます。

与那国島に関する知識要求に対応できる郷土資料の収集、新聞・雑誌コーナーやキッズコーナーの設置、読み聞かせ会やワークショップなどのイベント開催を通じ、さまざまな目的を持つ町民が気軽に訪れ、交流できる、島のくらしに溶け込んだ図書館を目指します。

「埋蔵文化財補助事業」令和3年度に引き続き令和4年度も島仲村跡遺跡の試掘調査を進めてまいります。出土した遺物は適切に保管・監理しています。今後は、学校教育や生涯学習の現場で活用していくことを目指します。

#### ④ 西自治公民館活動拠点施設の建設

兼ねてから要望のあった西自治公民館の活動拠点施設の建設に向けて取り組みます。

### 3 医療・福祉の充実

#### ① 医療の充実

与那国診療所の運営安定化を図るため、平成23年10月より、公益財団法人地域医療振興協会が与那国町診療所の指定管理者となり、令和3年9

月で満10年となる節目を迎えました。これまでの与那国町の地域医療に対する功績を評して、今年の10月に同協会へ感謝状及び記念品の贈呈を行いました。今後も住民の健康と安心な暮らしの確保を図るため、指定管理者を継続していただくと共に、更なる地域医療の充実を推進するため、診療所と行政との連携を強化し持続可能な体制づくりに努めてまいります。

また、離島医療に係る多くの課題は、自治体及び医療機関だけで解決できるものではありません。県や国とも共有の課題として連携を図ることが必要です。そのためにも、様々な場で積極的に離島医療体制について議論しながら、継続的な医療体制の確保に努めてまいります。

2020年より世界中で感染が続き、昨年末から第6波となる感染が拡大している新型コロナウイルス感染症は、当町においても感染者が発生しており昨年12月末での感染者累計は112名となっております。町内の医療提供体制確保を優先しつつ、町民の日常を確保するためにも引き続き「新しい生活様式」を町民の皆様と共に実践しながら、ワクチン接種体制確保とワクチン接種を推進し、島内において感染が確認された際の感染拡大防止を図るための対策強化に取り組んでまいります。

## ② 福祉の充実

離島の中の離島という厳しい環境下で、子育て世代や障がいなど持つ方、高齢者等、社会的に弱い立場の人々が住み慣れた地域で安心して住み続けることが出来る社会づくりを目指すため、地域福祉の充実を図ることは、最

優先課題と考えています。支援する人も支援される人もすべての人が、地域でその人らしい生活を送れるよう、引き続き地域福祉計画を実行、推進してまいります。

地域福祉の充実を推進していくためには、住民・福祉関係団体・社会福祉協議会・行政それぞれが役割の中で、お互いに連携し協力できる関係を作り「自助」「互助・共助」「公助」を重層的に組み合わせた、地域ぐるみの福祉を推進していく必要があります。

また、大規模災害発生が相次ぐ近年の状況を踏まえ、避難行動要支援者への支援体制強化や、災害時において拠点となる福祉避難所機能の充実を図る必要があります。

これらを解決していくためにも、要となる人材の育成が必要であると考えております。そのためには、行政と社会福祉協議会との連携は必要不可欠であり、CSW（コミュニティーソーシャルワーカー）の育成、民生・児童委員の担い手育成、自主的な活動を行っている地域住民への支援等のためにも必要な事業及び対策の推進を図ってまいります。

また、行政課題のひとつである、庁内の連携強化については、これまでの状況を見直し、地域福祉の充実は全庁的な目的であることを認識し、全ての部局及び職員が横断的な考えで取り組むよう体制構築を図ってまいります。

児童福祉におきましては、祖納、久部良の2園で保育事業を実施しておりますが、職員の定年退職が続いていることにより、保育士が不足する厳しい状況となっております。改めて保育行政の今後の方向性を検討する必要があります。

あることから、検討委員会を設置し中長期的プランを検討し必要な対策を図ります。

現在、新たに策定中の第5次与那国町総合計画の部門別計画として位置づけられる、「どうなん健康づくり21」「障害者（児）計画」、「障害福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」、「母子保健計画」、「高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」等の各計画については、新たな総合計画との整合性を図るため、職員全員が積極的に計画策定に携わり、町内の現状に合わせた具体的な施策が反映できるよう策定に取り組んでまいります。

離島患者等支援事業は、特定不妊治療、がん患者、小児慢性特定疾病児童及び指定難病患者等が島外の医療施設へ通院する際に要する経済的負担を軽減し、医療を受ける機会を確保できるよう実施しておりますが、利用者が増加していることも踏まえて、県と連携し更なる支援強化を図ってまいります。

### ③ 母子保健・子ども子育て

離島及び過疎地域である本町において子育て世代を支援するためには、健やかに安心して子育てができる環境を整え充実を維持することが最も重要であります。

今年度も少子高齢化対策事業を実施し、妊産婦が妊娠から出産までに必要となる経費負担の一部助成を行い子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。

さらに近年の子育て世代は、転勤世帯や島外出身者が多くなり、頼る人が身近にいないなど、一人で子育てに悩む若い世代が増えていることから、新規事業として長寿福祉課内に「子育て世代包括支援センター」を開設し、妊娠・出産・子育ての相談窓口として切れ目のない支援を提供してまいります。これまでの母子保健事業に加え、「産後ケア事業」や「産婦健康診査事業」等のサービスを拡充し、妊産婦や乳幼児が安心して健康な生活ができるよう取り組んでまいります。また、これらの事業に行政と共に取り組んでいただいている母子保健推進員についても、地域と行政を繋ぐ重要な役割を担うことから、活動支援の充実を図るとともに、新たな支援員を育成するための対策を検討してまいります。

#### ④ 健康づくり

町民の健康増進を図ることは、高齢化が進む本町にとっても、町民一人ひとりが考えるべき課題となっております。安心して生き生きとした町づくりを推進していくためにも、健康増進施策を町の重要な行政施策として位置づけ、「どうなん健康づくりプラン21」に基づく各事業を推進してまいります。

広報誌に掲載を続けている「がんどうコラム」又は、ホームページ、SNS等の情報発信媒体を有効に活用した情報発信を積極的に行い、住民の健康づくりに対する意識向上と生活習慣改善への行動変容を図ってまいります。また、コロナ禍への対応で内容を縮小して実施しておりました「与那国町福



祉まつり」を改めて企画し内容を充実させ実行できるよう取り組んでまいります。また、毎年実施している各種検診等を有効な機会をとらえ、生活習慣病やがん等の病気を予防するための積極的な情報提供や保健指導を行い、同時に早期発見・早期治療のための受診を勧奨し、町民の健康保持・増進に努め、ひいては健康寿命の実現を目指してまいります。

#### ⑤ 食育推進

健康づくりに連動し、推進している「与那国町食育推進計画」に伴う取り組みについても、健康はもとより、地産地消・食文化の継承など多分野的に広がりをもつ「食育」を推進出来るよう取り組んでまいります。

令和4年度は「与那国町食育推進計画」の評価年度にあたることから、与那国町の食育に関する意識調査を実施し、5年前の調査時と比較し評価を行います。その課題を整理、分析したうえで、地域住民、関係機関・団体と連携しながら解決に向けた事業として「ぶーるし(みんなで)はい！ハイ(食べよう)の日事業」、「15の春 食育教室」を実施する他、新たなイベント等を実施してまいります。

#### ⑥ 高齢者福祉・介護予防

人口減少対策により本町の人口は、1,700人前後推移する状況ですが、高齢化率は、令和2年度で“22.1%”と年々ゆるやかに増加しており、今後は高齢化の進行に伴い介護需要も増加することが想定されるため「どうなん・

ガンドゥープラン21」に基づく各対策を推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、高齢者の活動範囲や活動回数の減少などでおきるフレイル（虚弱）が心配されましたが、「いきいき100歳体操」、「グランドゴルフ」、「沿道にある草花の手入れ」など活発な地域活動が継続的に実施されており、長期にわたって続いているコロナ渦でも元気に過ごせていることから、今後も与那国町の高齢者が気軽に通える集いの場が変わらず円滑に活動できるようサポートしてまいります。また、社会福祉協議会及び各地域にいる有償ボランティアやコーディネーター等の協力により実施している「生活支援体制整備事業」では、行政が補いきれない日常生活の支援を実施しており、今年度は事業内容の拡充を図り、きめ細かな高齢者への支援が行えるよう実施してまいります。

#### 4 ゴミ対策

現代社会の生活形態が大量生産、大量消費、大量廃棄という浪費型の生活様式となり、排出されるごみの量も依然として毎年増加傾向にあります。平成26年度から実施している焼却施設整備事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により工事の一時中止等による遅れもありましたが、令和3年8月に供用開始しました。これまでに最終処分場にそのまま処分していた可燃ごみを掘起こし、本施設で焼却処分することで最終処分場の延命化を図り、引き続き安全で適性なごみの処理、環境負荷の低減に努め、

万全の態勢で運用してまいります。

また、引き続き「一般財団法人家電製品協会」の「離島対策事業」を受け、家電リサイクル法対象の廃家電「テレビ、エアコン、冷凍・冷蔵庫、洗濯機・乾燥機」について、海上輸送費補助を行ってまいります。本事業により沖縄本島内と同程度のごみ処理負担とすることで、不法投棄防止及び町民の負担軽減を図ります。

## 5 生活基盤の整備

### ① 県道・町道の整備

平成 27 年度に事業採択された県道 217 号線については、地権者や県との連携を密にし、道路利用者の安全が確保できるよう事業推進に努めます。

また、県道 216 号線については、歩道設置事業に着手しておりますが、利用者の安全が早期に確保されるよう引き続き事業進捗の加速を沖縄県に要望してまいります。

町道の整備について、祖納部落内線の浦野工区につきましては、前年度より工事本体に着手し令和 8 年度の事業完了を目指します。

与那国駐屯地周辺道路である樽舞 1 号線外 2 道路改良事業については、令和 2 年度から工事本体に着手しており、引き続き、令和 8 年度の事業完了を目指して事業を推進してまいります。

また、町道の維持補修につきましては、引き続き点検調査・情報収集に努め、

道路利用者の安全が確保できるよう努めてまいります。

## ② 農業基盤整備

畑地かんがい営農の推進にあたり、国と連携しながら地下ダム建設に向けた調査を引き続き実施してまいります。

県営事業による土地改良整備については、早期完了を目指し引き続き支援してまいります。また、嶋仲地区におきましては、教育委員会と連携を図り遺跡発掘調査事業が円滑に推進できるよう支援してまいります。

新規事業におきましては、上里地区について県と調整を図っており、地権者の同意を得ながら令和5年度新規採択を目指してまいります。また、立田神第2地区、満田原地区、樽舞地区につきましても、事業計画及び営農計画の策定や地権者の同意を得ながら、引き続き新規採択を目指してまいります。

## ③ 港湾整備

祖納港につきましては、船尾岸工事に係る基礎工事を令和4年度より着手し、船舶利用者の安全な航行が行えるよう、今後も県と調整を図りながら令和6年度の竣工を目指してまいります。

## ④ 水道整備

簡易水道事業につきましては、令和3年度までに硬度処理施設が竣工し、令和4年度より久部良送水管の敷設工事を開始します。引き続き、老朽化が

著しい水道施設の基幹改良を実施してまいります。

また、水道施設の維持管理や水質管理を十分に行い、今後も安定した水道水を住民に供給できるよう努めてまいります。

#### ⑤ 定住促進

現在、実施している町営住宅の建替え事業を引続き実施し、快適で安全性を確保した住宅の整備に努めてまいります。

本年度は、祖納第一団地新築工事を実施し、さらに公営住宅等長寿命化計画を新たに更新したことにより一層、快適で安全性を確保した町営住宅の維持管理を努めてまいります。

現在、取り組んでいる「与那国町古民家活用型定住促進モデル実施計画」に基づきシニア層を狙いとした、古い建築技術と現代の建築技術を融合させた古民家の計画が難航しています建設を再度推し進めて、Iターン者が島内で安定した移住・定住体験ができる住宅の提供に努めてまいります。

#### ⑥ 空港の整備

当町の航空路は、住民の生活や都市との交流、観光等にとって重要な交通手段であり必要不可欠で大きな役割を担っております。

当空港ターミナルは、昭和62年に新設し平成6年に増築され30有余年が経過しております。

地理的に海岸沿いの低位置に立地しているため潮害、風害も重なり劣化

が著しい中、修繕を重ねながら機能維持管理に努めている状況にあります。

当空港は、現在誘導路 1、エプロン 1、スポット 2 で 1 日 8 本の民間の定期便と海上保安庁、自衛隊等の航空機及びヘリコプターが就航しております。

航空会社としては、搭乗等の際、乗客を安全に誘導する立場にありますが駐機中の民間機の隣に急患及び輸送用大型ヘリコプターが隣接するスポットにエンジンの掛かった状態で駐機するため、爆風で乗客が煽られる、そのため乗客を誘導する事が出来ず、航空機の運用に大変支障を来している状況にあります。空港利用者の安心・安全確保・機能拡充・利便性の向上を図ることが難しい現状にあります。

このような現状を改善するため、ターミナルの改築並びにヘリコプター用誘導路及びエプロンの増築を事業化へ向け引き続き国、県へ要請してまいります。

## 6 ICT利活用の促進

平成 28 年に離島地区海底光ケーブルが敷設され、同時期に LTE サービスが開始されたことにより、安定した固定高速通信が整い令和 2 年 4 月から庁舎内の住民サービス系システムのクラウド化本稼働が開始され、財務システム、人事給与システムのクラウド化が令和 3 年 10 月から稼働され、現在まで安定したサービスを提供しております。

行政サービスのデジタル化は、ともすればコストの増加につながり、クラウド化は低コストかつ迅速なシステムの構築に対応できることから、今後のデジタル化、システムの導入はクラウド・バイ・デフォルトを原則としていきます。

与那国町フリーWi-Fiは令和2年7月からサービスを開始し、現在21か所の観光地、学校などの主要施設で稼働中です。観光客の利便性を高めるとともに、町民も安心して使える通信環境が構築され情報格差の是正が図られつつありますが、場所により利用頻度に差があり、今後設置場所の見直し等も含めて運用課題を精査していきます。

次に、行政サービスの質の向上については、引き続き、広報誌やホームページの内容充実や、SNSなどを活用し、町政に関する情報を広く、また魅力ある発信に取り組むとともに、町民の皆様の意見や要望などが伝わりやすい体制づくりに取り組んでまいります。

また、情報化による業務プロセスの見直しと業務効率の向上、行政手続きのオンライン化による電子自治体の取り組みを進め、自治体DXの推進を図ってまいります。

## 7 消防・防災

### ① 防災・災害対策

与那国町防災訓練については、住民参加型の避難訓練等を自衛隊とともに

に実施いたします。策定中の「与那国町国土強靱化計画」につきましては、作成次第公表いたします。突然襲ってくる災害に備えておくため、避難経路、避難場所などの情報をあらかじめ周知することを目的に、ハザードマップの公表と各家庭への配布を実施いたします。

## ② 国民保護

各種事態に備えた避難実施要領のパターンは、消防庁、海上保安庁、警察及び自衛隊等の関係機関と協議し作成中であり、作成後、速やかに公表いたします。

## 8 行財政改革推進

### ① 政策参与の設置

与那国町の重要施策の企画、立案及び重要課題に対し、専門的立場から町政に助言及び提言を行っていただくため、政策参与を設置いたします。

### ② 人材確保

近年、町役場職員採用試験への応募者が極めて少なく、定員割れの状態が続いております。令和2年度から与那国町が幹事団体となって取り組んでいる「沖縄県離島町村職員採用共同試験」は、与那国町ほか4村が参加し、昨年10月31日に沖縄県初の共同試験を那覇市内で実施いたしました。



県内外から約 60 名もの受験申込みがあり、各町村において多数の一次試験合格者を獲得でき、応募者が極めて少なかったこれまでと比較すると、画期的な成果であり、意義のある取組であったと捉えています。今回の実施結果を検証し、より効果的な共同試験として継続実施できるよう引き続き検討を続け、本町の安定的な人材確保をめざしていきたいと考えています。

### ③ 税収の確保

本年度も引き続き、沖縄県、石垣市、竹富町及び与那国町税務職員の相互併任手続きを行い、自治体同士の連携強化を図るとともに、差し押さえ等を実施することで、税収の確保及び税負担の公平性を図っていきます。

## 9 新庁舎建設

現庁舎は、1969年に建設され、築53年が経過しております。外壁や天井が崩落するなど顕著な老朽化が進んでいるので、建物劣化調査及び建物改修設計業務を実施し、必要最小限の改修工事を実施いたします。新庁舎建設については、議会と調整の上、建設場所、建設規模等を決定し、速やかに実施設計に移行できる体制を整えてまいります。

むすびに

令和4年度の町政運営にあたり、私の基本姿勢と、所信の一端を申し述べてまいりましたが、これらの諸施策を執行するにあたりましては、職員とともに、全力で取り組んでまいります。

私は、町長就任にあたり「与那国町の再生と創世」を町政のテーマとして、7つの政策を柱として取り組むことを公約に掲げました。公約の実現につきましては、行政の混乱を起こさぬよう徐々に取り組んでまいります。昨年の就任時の所信でも申し述べたとおり、大切なことはこの与那国町が足腰の強い自立した自治体を目指すことです。本町においては、農水産業の復興及び振興、福祉、商工業、教育等島作り全般にわたり、多くのなすべき課題が山積しています。とりわけ隣の台湾等諸外国に向け門戸を開く施策を展開しなければならないと考えております。また、行財政、執行体制の改革による、足腰の強い自立した自治体を作るべく鋭意取り組んでまいります。

大変厳しい財政環境ではございますが、令和4年度当初予算編成にあたっては、国県補助金の確保に努めるとともに、限られた財源を計画的、且つ、効率的に配分することを基本に、昨年8月に町長に就任し初めてとなる当初予算編成を行いました。

その結果、令和4年度予算については、以下に編成し予算案を提案する次第であります。

## 令和4年度一般会計・特別会計予算

---

一 般 会 計 予 算 . . . . .	3,026,145,000 円
国民健康保険事業特別会計予算 . . . . .	254,128,000 円
簡易水道事業特別会計予算 . . . . .	220,236,000 円
介護保険事業特別会計予算 . . . . .	147,852,000 円
農業集落排水事業特別会計予算 . . . . .	33,186,000 円
漁業集落環境整備事業特別会計予算 . . . . .	15,119,000 円
後期高齢者医療特別会計予算 . . . . .	10,422,000 円
予算総額 . . . . .	3,707,088,000 円

---

具体的な内容については、予算審議の際、ご説明申し上げます。

町民の皆様、町議会議員並びに関係者各位の一層のご理解、ご協力を賜り、課題山積の難局を、町民の皆様と共に乗り越えることができるものと確信しております。

伏してお願い申し上げます、私の施政方針といたします。

令和4年3月7日

与那国町長 糸数健一



与那国町